

平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 高田 一信

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	1,590	△0.9	107	316.9	82	373.4	67	811.2
27年9月期第3四半期	1,605	△11.2	25	11.1	17	29.2	7	237.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	30.73	—
27年9月期第3四半期	3.37	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第3四半期	1,685	508	30.2	232.98
27年9月期	1,546	441	28.5	202.30

(参考)自己資本 28年9月期第3四半期 508百万円 27年9月期 441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—		
28年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,250	2.1	210	232.9	180	239.9	140	190.1	64.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期3Q	2,513,800 株	27年9月期	2,513,800 株
28年9月期3Q	331,583 株	27年9月期	331,583 株
28年9月期3Q	2,182,217 株	27年9月期3Q	2,182,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀による金融政策を背景とした、企業収益の改善傾向がみられましたが、消費者マインドには足踏みが見られ、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方、当社の主要販売先である外食産業におきましては、食材価格の高騰や、人手不足を背景とした人件費の上昇傾向及び、中食市場の拡大による競争激化など、当社の事業領域においては依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、大手外食チェーンを中心に従来からのASPサービスを核としたトータルソリューションシステムの提供と、規模を問わず、あらゆる業態店舗に対応するパッケージ型の基幹業務システム「飲食店経営管理システム(R)」の販売活動に注力してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間は、売上高は1,590,628千円(前年同四半期比0.9%減)となりました。利益面に関しましては、営業利益107,280千円(前年同四半期比316.9%増)、経常利益82,058千円(前年同四半期比373.4%増)、四半期純利益67,060千円(前年同四半期比811.2%増)と、大幅増益となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規顧客獲得及び既存顧客へのサービス拡大に注力した結果、月額サービス料が回復傾向にあることにより、売上高は818,267千円(前年同四半期比10.7%増)となりました。月額サービス料は累計で792,546千円(前年同四半期比9.4%増)と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、システム機器の新規受注等に注力した結果、売上高は658,832千円(前年同四半期比14.2%減)となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は113,528千円(前年同四半期比15.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、1,685,305千円となり、前事業年度末に比べ138,903千円増加いたしました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金52,778千円、商品37,220千円の増加、売掛金37,615千円の減少がありました。固定資産においては、ソフトウェアが44,554千円、建設仮勘定22,680千円の増加、工具、器具及び備品17,069千円の減少がありました。また、流動負債では、短期借入金が58,000千円の減少の一方、買掛金38,105千円、1年内返済予定の長期借入金36,000千円の増加がありました。固定負債では、長期借入金28,200千円、退職給付引当金8,841千円の増加の一方で、社債7,000千円の減少がありました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動で得られた資金と、投資活動及び財務活動により使用した資金によって、前事業年度に比べ48,278千円増加し、当第3四半期会計期間末には347,812千円となりました。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は197,757千円(前年同四半期は使用した資金56,402千円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益80,263千円、減価償却費62,936千円の計上のほか、売上債権37,784千円の減少、仕入債務37,051千円の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は137,736千円(前年同四半期は使用した資金69,945千円)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出106,755千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は11,743千円(前年同四半期は使用した資金78,863千円)となりました。これは長期借入れによる収入108,000千円があった一方で、短期借入金の純減少額58,000千円、長期借入金の返済による支出43,800千円、社債の償還による支出17,000千円などがあったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、引き続き、「飲食店経営管理システム(R)」を含めたASPサービス、オーダーエントリーシステム等のシステム機器を駆使したソリューションビジネスを展開していくと共に、かねてからの取り組んでおります、「自動発注システム」導入前後のお客様先業務改革及び、フォローアップ強化のための社内外のネットワーク体制の構築を強化してまいります。

当社主要顧客である外食企業は、食材価格の高騰や、人手不足を背景とした人件費の上昇傾向及び、中食市場の拡大による競争激化など、当社の事業領域においては依然として厳しい状況が続いております。

このような状況を踏まえ、平成28年5月9日付の「平成28年9月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340,034	392,812
売掛金	212,377	174,762
商品	375,428	412,648
貯蔵品	23,168	30,389
前渡金	15,120	14,394
前払費用	20,392	23,164
繰延税金資産	35,451	25,013
未収入金	4,742	13,531
その他	964	12,535
貸倒引当金	△6,403	△5,553
流動資産合計	1,021,275	1,093,699
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,660	6,626
工具、器具及び備品(純額)	57,192	40,123
土地	20,429	20,429
リース資産	—	16,301
建設仮勘定	77,380	100,060
有形固定資産合計	162,661	183,540
無形固定資産		
ソフトウェア	81,834	126,388
ソフトウェア仮勘定	57,234	69,956
電話加入権	2,445	2,445
無形固定資産合計	141,513	198,790
投資その他の資産		
出資金	139	132
長期前払費用	147,722	142,908
敷金及び保証金	19,326	19,326
繰延税金資産	22,377	34,877
長期未収入金	74,321	74,321
その他	10,308	10,339
貸倒引当金	△53,740	△72,903
投資その他の資産合計	220,455	209,003
固定資産合計	524,631	591,334
繰延資産		
社債発行費	494	271
繰延資産合計	494	271
資産合計	1,546,401	1,685,305

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	176,975	215,080
短期借入金	611,000	553,000
1年内償還予定の社債	24,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	50,400	86,400
リース債務	—	3,772
未払金	31,820	44,634
未払費用	9,757	12,012
未払法人税等	8,353	14,936
預り金	8,659	9,212
前受金	52,329	50,256
賞与引当金	16,251	4,702
その他	6,484	15,782
流動負債合計	996,032	1,023,792
固定負債		
社債	21,000	14,000
長期借入金	66,000	94,200
リース債務	—	14,147
退職給付引当金	21,903	30,744
固定負債合計	108,903	153,092
負債合計	1,104,935	1,176,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	8,223	75,283
自己株式	△248,286	△248,286
株主資本合計	441,398	508,458
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67	△37
評価・換算差額等合計	67	△37
純資産合計	441,465	508,420
負債純資産合計	1,546,401	1,685,305

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,605,548	1,590,628
売上原価	1,103,817	1,057,133
売上総利益	501,730	533,495
販売費及び一般管理費	475,999	426,215
営業利益	25,731	107,280
営業外収益		
受取利息	36	15
受取配当金	76	37
貸倒引当金戻入額	389	850
その他	358	551
営業外収益合計	859	1,454
営業外費用		
支払利息	6,734	6,744
支払保証料	768	547
貸倒引当金繰入額	—	19,162
その他	1,754	222
営業外費用合計	9,257	26,676
経常利益	17,333	82,058
特別損失		
固定資産売却損	669	—
ゴルフ会員権売却損	1,450	—
訴訟関連費用	—	1,795
特別損失合計	2,119	1,795
税引前四半期純利益	15,213	80,263
法人税、住民税及び事業税	1,693	15,217
法人税等調整額	6,160	△2,014
法人税等合計	7,854	13,202
四半期純利益	7,359	67,060

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	15,213	80,263
減価償却費	58,479	62,936
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△389	18,312
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,304	△11,548
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,146	8,841
受取利息及び受取配当金	△112	△53
支払利息	7,961	7,291
売上債権の増減額(△は増加)	24,507	37,784
たな卸資産の増減額(△は増加)	△149,260	△44,441
仕入債務の増減額(△は減少)	6,413	37,051
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,114	△25,013
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,287	38,636
固定資産売却損益(△は益)	669	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	1,450	—
その他	1,785	4,311
小計	△47,838	214,372
利息及び配当金の受取額	112	53
利息の支払額	△6,515	△7,102
法人税等の支払額	△2,160	△9,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	△56,402	197,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,060	△26,480
有形固定資産の売却による収入	3,910	—
無形固定資産の取得による支出	△43,037	△106,755
定期預金の預入による支出	△4,500	△4,500
敷金及び保証金の回収による収入	323	—
ゴルフ会員権の売却による収入	3,600	—
その他	△182	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,945	△137,736
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,733,200	1,510,000
短期借入金の返済による支出	△1,897,700	△1,568,000
長期借入れによる収入	150,000	108,000
長期借入金の返済による支出	△21,000	△43,800
社債の償還による支出	△37,000	△17,000
リース債務の返済による支出	—	△943
その他	△6,363	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,863	△11,743
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△205,211	48,278
現金及び現金同等物の期首残高	452,868	299,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	247,657	347,812

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。